

平成 21 年 3 月 13 日

「チャレンジプログラム」実施について

理事長 舘 次郎

日頃は、協会の諸活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

昨今の厳しい不況下、ボートにおいても特に社会人クラブを中心に周辺環境が急速に悪くなってきているということを耳にいたします。

そのような中で、多くの社会人クラブの代表者からは、「こういう時こそクラブの活動が活発に行われていることを内外に示せる状況を創出してほしい」という要望が届いております。

協会としてこのような声にどう答えるか、検討してまいりましたが、今シーズンについては、「チャレンジプログラム」と銘打った活動を展開し、微力ながらクラブの活動の活性化へ寄与できればと考えております。

このプログラムは 2 つの内容から成り立っています。

1. まず、Crew JAPAN 以外の単独クルーの海外派遣を実施いたします。これは、各クラブの活動やオープン選手の活動に海外遠征という動機づけを与えることにより、Crew JAPAN 以外の選手たちにもより大きなチャレンジ意欲を持ってもらおうというものです。その意味では、ナショナルチーム委員会の事業とは別の位置づけになりますが、大きな意味での強化の一環と位置づけ、実施するものです。

具体的には、①全日本軽量級選手権（JAPAN Cup）の LM8+ の優勝クルーを世界選手権に派遣する。②全日本選手権の M8+、M4+ に加えて今後決定する女子 1 種目の優勝クルー計 3 クルーをアジア選手権に派遣する。の 2 つの派遣事業を実施いたします。Crew JAPAN の派遣との違いは、費用負担が原則、全額自己負担となる点です。なお、この場合も、派遣にあたっての十分な練習量の確保などについて協会側の要求水準で実施することを事前に確約してもらうことが派遣の前提となります。

この「チャレンジプログラム」で、単独クルーを海外選手権に派遣することについては、賛否両論があります。しかしながら、冒頭、申しましたとおり今回の不況下で社会人クラブの存続に危機感を抱く関係者が多い中、社会人クラブが活発に活動していることを内外に示せるチャンスを作ることが最重要と協会執行部は考えております。

最強のメンバーで代表クルー（Crew JAPAN）を組成するという大原則にはいささかの変更ありませんので、今回の単独クルー派遣がその大原則を揺るがすことのないよう皆様のご理解、ご協力を強くお願い申し上げます。

2.「チャレンジプログラム」の第2の内容は、Crew JAPAN メンバー (Crew JAPAN (U19) メンバーは除きます。以下同じ) の所属団体を「強化指定団体」として協会が指定し、Crew JAPAN メンバーが常に練習機会をより得やすくなる環境を作ることです。「強化指定団体」となることで、Crew JAPAN メンバーのみならず、チームメート全体を強化しやすくする形を作ります。「強化指定団体」には協会から金銭的支援はできませんが、マンパワー、機材などでサポートする予定です。

これにより、「強化指定団体」として各クラブの活動が少しでも活発になり、ひいてはクラブ運営に良い影響が出ることを目的としております。

以上の「チャレンジプログラム」の2つの内容は、共に差し当たり今年限りの実施といたしますが、その成果、周辺状況を見ながら継続の是非を検討することにいたします。

皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

以上